

平成 22 年 ふれあい座談会

主 催	ふじみ野市
テ ー マ	大井総合支所の再整備について
日 時	平成 22 年 11 月 24 日(水)・午後 8 時～9 時 30 分
場 所	大井中央公民館・大会議室
参 加 者	25 名
市	市長、副市長、総合政策部長、秘書広報課長

(市長あいさつ・市長説明 省略) 以下は主な質疑です。

参加者:消防本部の整備はいつ頃か。

市 長:返事を待ってもらっている状況です。消防組合として、少しでも早く整備したいということです。

参加者:消防本部や大井分署の土地は将来的にどうなるのか。

市 長:消防組合が売却することになると思います。

参加者:この説明会は消防団の了解を得ようという主旨か。

市 長:了解をもらうものではありません。議会の了解をもらいます。

参加者:支所が縮小になるという話が先行していて不安がある。敷地が狭くなるのであれば、高層にするなどして対応すれば住民も納得すると思うが。

市 長:建物の大きさとしては、西側地域の方が納得できるもの良いと思います。支所の耐震工事や大規模改修を実施すると 8 億円以上が予想され、教育委員会と建設部門を配置しているため、本庁との移動コストが年間 4 千万円、5 年間で 2 億円に上ります。こうした無駄を無くしたいと思います。残り 5 年間の合併特例債を使用し、低下している支所の機能を上げるべきです。やるべき事をやらないと、負の遺産を残すこととなります。ゴミ処理施設も今やらないと将来できなくなります。支所の再整備にあたって複合施設にする場合、中に何を入れるかは時間をかけて良いと思います。市民が満足する施設にしたいです。

参加者:会社のグラウンドとか、ほかに適当な土地はなかったのか。

市 長:消防組合からは、指令台の更新ということで、限られた時間の中で市に依頼があったものです。

参加者:教育委員会の建物はどうするのか。

市 長:使った方が良いか、最終判断していません。有益な方法を考えます。

参加者:上福岡庁舎の建て替えはいつ頃か。大井第3分団の車庫が新消防本部の目の前になるが、団員が集まらないので、消防団を減らす方向はどうか。

市 長:耐震診断の結果待ちです。消防団に新人が入らず、富士見市は減らしましたが、いざという時に必要と思います。運営に関しては団の意見が重要と思います。

参加者:移動コストの4千万円とは。

市 長:移動時間は職員が執務できないので、その人件費と自動車に係る経費などです。

参加者:職員を採用しないというのは賛同できない。空洞化するのでは。

市 長:経験者採用など年齢制限も設定できるので空洞化は避けられます。

参加者:反対者が増えたり、隣接地を買えなかった時は、支所の整備案が変わる可能性は。

市 長:市民に利益のあることと説明しています。今選択しなかった時は、後悔することになると思います。議員の意見も一致しています。旧大井町の議員も頑張ってくれと言っています。

参加者:市の職員は、どのくらい理解しているのか。

市 長:熟知していません。職員にも理解してもらおうと思っています。